

取扱説明書

カタログ番号 7670-01 タイコス 767 シリーズウォール型 成人用(中)カフ付

カタログ番号 7670-10 タイコス 767 シリーズスタンド型 成人用(中)カフ付

禁忌・禁止

新生児への使用については、安全性および有効性が確認されていません。新生児には使用しないでください。

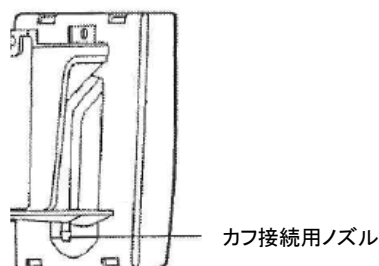
警告・注意

- ⚠ 警告 製品使用前に本取扱説明書を修読してください。使用方法を誤ると、使用者や患者さんが怪我をしたり、製品に損傷を与える場合があります。
- ⚠ 警告 接続チューブ間にルアーロックコネクタを使用しないでください。輸液チューブ等に誤接続された場合、加圧空気が体内に送気される可能性があります。
- ⚠ 警告 10mmHg 以上加圧した状態で 10 分間以上患者さんに装着しないでください。患者さんに不快感を与えたり、血流障害、末梢神経の損傷などをもたらす可能性があります。
- ⚠ 警告 カフ及び付属品はウェルチ・アレン社が指定するもののみをご使用ください。他のカフ及び付属品を使用した場合、正確な測定が出来ない可能性があります。

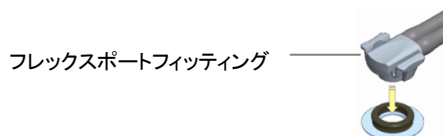
組立て方法

【7670-01、7670-10 共通】

1. フレックスポートフィッティングが付いたカフチューブの長い方に送気球を取り付けます。
2. フレックスポートフィッティングが付いたカフチューブの短い方のコネクタとコイルチューブのコネクタを接続します。
3. コイルチューブのもう一方の端をゲージ裏面の下部の”カフ接続用ノズル”へ差し込みます。



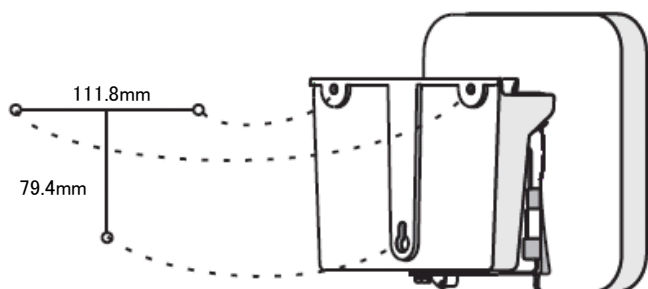
4. フレックスポートフィッティングをカフ上のフレックスポートにカチッというクリック音がするまで押し込んで接続します。



5. 以下に示す手順で壁またはスタンドに取り付けます。

【7670-01】

下図に示したネジ穴に付属のネジを用いて壁に固定してください。



完成図

【7670-10】

① 図1で示したようにスタンドの支柱の突起(a)とスタンドベース開口部の溝(b)の位置を合わせ、図2のように支柱をベース開口部にまっすぐに押し込んでください。

② バasket付の支柱を上記①で組み立てた支柱の上部に、①と同様に突起(a)と溝(b)の位置を合わせ、図3で示したようにまっすぐに押し込んでください。

⚠ 注意 支柱は奥までしっかりと押し込んでください。一度組み立てたスタンドは分解できません。

③ 血圧計のゲージを図4で示したようにスタンド上部のフックにかみ合うようにスライドさせて差し込み、付属のネジで固定して下さい。

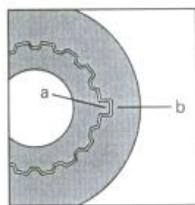
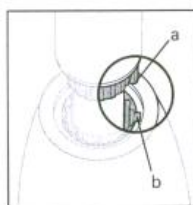
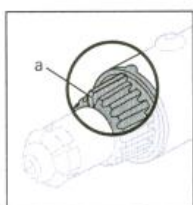


図1

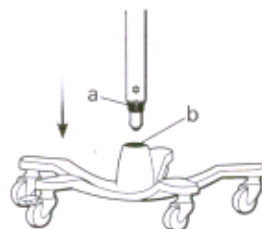


図2

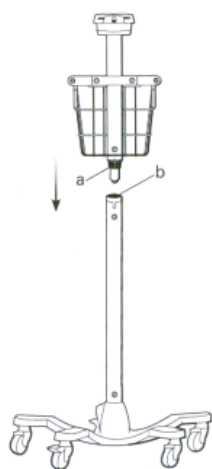


図3

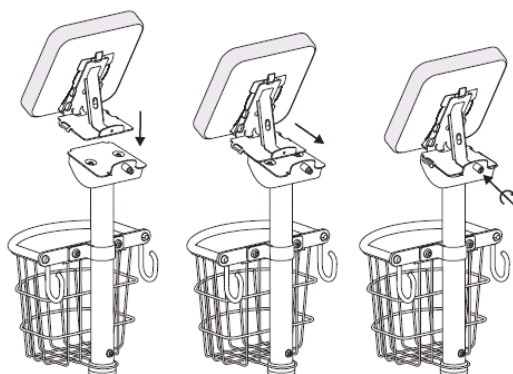


図4



完成図

測定方法

聴診法(上腕部で測定する場合)

1. 以下のサイズ表に示した患者さんの上腕径に対応したカフを選択してください。製品に標準付属されているカフは成人用(中)です。必要に応じ、他のサイズのカフを準備してください。

型式	測定部位サイズ(cm)
大腿部用	40~55
成人用(大)	32~43
成人用(中)	25~34
成人用(小)	20~26
小児用(中)	15~21
小児用(小)	12~16
乳幼児用	9~13

2. カフに印字された動脈インデックスマーカー(ARTERY INDEX MARKER)を患者さんの上腕動脈上に合わせ、カフの下辺が肘曲部の上、約2.5cmの位置で隙間の無いように巻き、動脈インデックスマーカーの線がサイズ表示範囲内に収まることを確認し、ベルクロテープを合わせます。



3. 予測される(又は触診による)最高血圧より30mmHg程度高い圧までカフを加圧し膨らませます。
4. 聴診器をカフ装着部より末梢側の動脈部に当て、コロコフ音を聴取しながら、エアリリースバルブを操作して毎秒2~3mmHgずつカフの内圧を減圧しながら、最高及び最低血圧を読み取ります。
6. 最低血圧読み取り後、エアリリースバルブを操作し、カフ内の残留圧を排気してください。繰り返し測定を行う場合は最低30秒の間隔をあげてから、上記の手順3から行ってください。

保守点検

【洗淨及び消毒】

ゲージ、チューブ、エアリリースバルブ、送気球

水またはぬるま湯でわずかに湿らせた布、またはアルコールパッドで汚れを拭き取って下さい。

カフ (リユーズブルカフのみ)

① (準備)

フレックスポートフィッティングの両側面をつまんで手前に引いて、カフからチューブを外します。洗淨用カフポートプラグ(カタログ番号 5082-159)でポートを密閉し、ベルクロテープのフックとループを合わせます。

②（洗浄）


①口で準備したカフに、以下の中から1つ以上の方法を用い、空気乾燥させます。


- ・ 中性洗剤を水で1:9の割合に薄めた溶液で清拭した後、溶液をよく拭き取って乾かします。
- ・ 酵素洗浄剤サイデザイム(海外販売名 Enzol® ジョンソン・エンド・ジョンソン社製)にて、メーカーの使用説明書に従って清拭した後、溶液をよく拭き取って乾かします。
- ・ 5%~6%の次亜塩素酸ナトリウム漂白剤溶液を水で0.5%に希釈した溶液で清拭した後、溶液をよく拭き取って乾かします。
- ・ 70%イソプロピルアルコールで清拭した後、溶液をよく拭き取って乾かします。
- ・ 60°C以下の中性洗剤を含んだ温水で通常運転で洗濯します。

③（低水準消毒）

酵素洗浄剤サイデザイム(海外販売名 Enzol® ジョンソン・エンド・ジョンソン社製)をメーカーの使用説明書に従って用意します。①で準備したカフに用意したサイデザイム洗浄液をむらなくスプレーし、滅菌ブラシでカフ表面全体を廻すように5分間ブラッシングします。蒸留水で連続5分間すすぎ流します。

次に10%漂白剤溶液で浸み込むまでスプレーし、5分間滅菌ブラシでカフ表面全体を廻すようにブラッシングします。蒸留水で連続5分間すすぎ流し、空気乾燥させます。

 注意 洗浄、消毒後はカフに損傷がないことを確認してください。

 注意 ディスポーザブルカフは一人の患者さん専用を使用する目的でデザインされています(Single Patient Use)。一人の患者さんへ使用したカフを別の患者さんへ使用しないでください。

【ゲージの精度確認】

血圧計のゲージは、以下の定期的な精度確認および校正(キャリブレーション)を行ってください。


①クイックチェックキャリブレーション

加圧していない状態で血圧計の針がゼロ点を示す楕円表示内にあることを確認してください。針がゼロ点を示す楕円表示内にあっても全ての加圧範囲における精度が正しいことを示すことにはなりません。楕円表示内に無いものは明らかに校正(精度修正)を要することを意味します。

②フルチェックキャリブレーション

少なくとも2年に1度、以下の手順でフルチェックキャリブレーションを行ってください。ご不明な点等ございましたらウエルチ・アレン・ジャパン株式会社(TEL:0120-117-720)までお問合せください。

1. Tコネクタを用い150-500ccの試験容量に対応した高精度の基準圧力計に血圧計を接続します。
2. 接続した血圧計を300mmHgを僅かに超す程度まで加圧します。
3. 10mmHg/秒以下の速度で減圧し、300、250、200、150、100、50、0mmHgでそれぞれ減圧を止めて基準圧力計との比較によって血圧計の精度を確認します。

 注意 血圧計の精度測定は基準圧力計の精度に依存します。定格が ± 0.1 mmHgの機器(デジタル基準圧力計等)を用いる場合は最大0.2mmHgの誤差範囲となりますが、定格が ± 3.0 mmHgのマノメーター(水銀柱またはアネロイドゲージ)を用いる場合は最大6.0mmHgの誤差を生じることがあります。精度確認にはより精度の高い基準圧力計をお使いください。

仕様

測定範囲	0 ~ 300mmHg
精度	±3mmHg
精度保証	10年間

【製造販売元】

ウェルチ・アレン・ジャパン株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-15 錦精社ビル 6F

フリーダイヤル TEL: 0120-117-720 FAX: 0120-773-353

製造販売業許可番号: 13B2X00086